

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：TボンドM主剤

製品番号 (SDS NO)：M17-094-2

製品種類：

接着剤

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：工業用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：大成ファインケミカル株式会社

住所：東京都葛飾区西新小岩3-5-1

担当部署：機能商品事業部 技術グループ

電話番号：03-3691-3370

FAX：03-3691-3371

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 2

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

呼吸器感作性：区分 1

皮膚感作性：区分 1

発がん性：区分 2

生殖毒性：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 3

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

T ボンド M 主剤

臓器の障害

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

特別な処置が必要である。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
メタクリル酸メチル	37.30	80-62-6	2-1036
アクリル酸2-エチルヘキシル	10-20	103-11-7	2-990
アクリルモノマー	1-5	登録済み	-
固形ワックス	0-1	登録済み	-
フタル酸ジ-n-オクチル	1-5	117-84-0	3-1307
添加剤	10-20	登録済み	-
アクリル樹脂	10-20	登録済み	-

危険有害成分

REACH規則 SVHC候補リストに掲載の生殖毒性物質（第57条c）

フタル酸ジ-n-オクチル

GHS分類区分に該当する危険有害成分

メタクリル酸メチル，アクリル酸2-エチルヘキシル，フタル酸ジ-n-オクチル

健康有害性シンボル該当成分

メタクリル酸メチル，アクリル酸2-エチルヘキシル，フタル酸ジ-n-オクチル

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

消火を行う者への勧告

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 関係者以外は近づけない。
- 回収が終わるまで十分な換気を行う。
- 風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

- 安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。

安全取扱注意事項

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

- 酸化性物質との接触を避けること。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

- 涼しいところに置くこと。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

- 消防法で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

(メタクリル酸メチル)

日本産衛学会(2012) 2ppm; 8.3mg/m³

(メタクリル酸メチル)

ACGIH(2015) TWA: 50ppm;

T ボンド M 主剤

STEL: 100ppm (上気道及び眼刺激; 体重影響; 肺水腫)

[ACGIH] 特記事項

(メタクリル酸メチル)

皮膚感作性

EU作業環境許容濃度(EU指令91/332/EEC~2019/1831/EUに準拠)

(メタクリル酸メチル)

LTEL: 50ppm

STEL: 100ppm

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

皮膚及び身体の保護具

皮膚と身体の個人用保護具は、作業とそれに伴うリスクに基づき選択すること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：淡黄色

臭い：アクリルモノマー臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 点火性あり

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：2.12vol %

爆発上限：12.5vol %

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点：(セタ密閉式)(メタクリル酸メチル)11.0°C

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：適用外

動粘度：2100-3100mPas

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：1.72g/liter

n-オクタノール/水分分配係数データなし

蒸気圧：4.39kPa(20°C)

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度：知見なし1.00~1.04g/cm³(23)

相対ガス密度(空気=1)データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

急激な加熱、直射日光、紫外線照射等により発熱を伴う重合反応を起こす。また、不活性ガスを容器に充填させて保管すると重合反応を起こす場合もある。

危険有害反応可能性

強酸化剤と激しく発火する。

T ボンド M 主剤

重合の可能性あり。

避けるべき条件

高温、日光

高温の物体、火花、裸火、静電気火花

混触危険物質

酸化性物質、強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

rat LD50=7800mg/kg (ACGIH 7th, 2015), 7900mg/kg, 8500mg/kg, 9400mg/kg (以上ECETOC JACC3 0, 1995)

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

rat LD50 > 2000mg/kg (AICIS IMAP, 2014)

(フタル酸ジ-n-オクチル)

rat LD50=53700mg/kg (NICNAS, 2015)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

rabbit LD50 > 5000mg/kg (EU-RAR, 2002)

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

rabbit LD50 > 2000mg/kg (AICIS IMAP, 2014)

(フタル酸ジ-n-オクチル)

guinea pig LD50=73350mg/kg (換算値) (NICNAS, 2015)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

vapor: rat LC50=7093ppm/4hr (ECETOC JACC 30, 1995; EU-RAR, 2002; ACGIH 7th, 2015); < 飽和蒸気圧濃度 (38614ppm) の90%

労働基準法: 疾病化学物質

メタクリル酸メチル

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

ヒト 刺激性 (EU-RAR, 2002); ラビット 刺激性 (EU-RAR, 2002); EU CLP Skin Irrit. 2 (ECHA C L Invt., Access on Jun. 2017)

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

ラビット 強度の紅斑及び浮腫 (EURAR, 2005 et al.)

[CLP規則 附属書VI 表3]

(メタクリル酸メチル)

区分 2

T ボンド M 主剤

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

ラビット 刺激性 (EU-RAR No.22, 2002; ACGIH 7th, 2015)

呼吸器感受性又は皮膚感受性

感受性 [厚労省局長通達]

メタクリル酸メチル

呼吸器感受性

[製品]

区分 1, 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

cat. 1; 産衛学会, 2012

皮膚感受性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

cat. 1; EU-RAR No.22, 2002; 産衛学会, 2012; EU CLP (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

cat. 1B; guinea pig/陽性 (Maximisation法) (MAK (DFG) vol.16, 2001)

[CLP規則 附属書VI 表3]

(メタクリル酸メチル)

区分 1

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

区分 1

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[製品]

区分 2, 発がんのおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 122, 2019)

[IARC]

(メタクリル酸メチル)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[ACGIH]

(メタクリル酸メチル)

A4(2015) : ヒト発がん性因子として分類できない

[日本産衛学会]

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

生殖毒性

[製品]

T ボンド M 主剤

区分 2, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(フタル酸ジ-n-オクチル)

cat. 2; 環境省リスク評価第9巻, 2011; ATSDR, 1997; NICNAS, 2015

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

呼吸器 (ECETOC JACC30, 1995; EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

気道刺激性 (EURAR, 2005)

[CLP規則 附属書VI 表3]

(メタクリル酸メチル)

区分 3, 気道刺激性

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

区分 3, 気道刺激性

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

麻酔作用 (ECETOC JACC30, 1995; EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

麻酔作用 (EURAR, 2005)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

神経系、呼吸器 (環境省リスク評価書 第11巻, 2013)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

鼻腔 (AICIS IMAP, 2014)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 3, 水生生物に有害

区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害

[成分データ]

T ボンド M 主剤

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=48mg/L/48hr (EURAR, 2002)

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=1.3mg/L/48hr (SIAP, 2004); 魚類 (ニジマス) LC50=1.8mg/L/96hr (SIAP, 2004)

(フタル酸ジ-n-オクチル)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 > 0.000669mg/L/48hr; 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50 > 0.045mg/L/96hr (環境省初期評価, 2011)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC (繁殖阻害)=3.5mg/L/21days (環境省生態影響試験, 2017); 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC (速度法)= 86mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2017)

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=0.136mg/L/21days (REACH登録情報, 2020)

(フタル酸ジ-n-オクチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC > 0.00061mg/L/21days (環境省既存点検結果, 2005)

水溶解度

(メタクリル酸メチル)

1.6 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

溶けない (ICSC, 2003)

(フタル酸ジ-n-オクチル)

難水溶性である (0.022 mg/L (HSDB, 2022))

残留性・分解性

[成分データ]

(メタクリル酸メチル)

BODによる分解度: 94.3% (化審法DB, 1976)

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

急速分解性あり (BODによる分解度: 75%/28 days (EURAR, 2005))

(フタル酸ジ-n-オクチル)

急速分解性あり (BODによる分解度: 67% (METI既存点検結果, 2001))

(フタル酸ジ-n-オクチル)

急速分解性あり (BODによる分解度: 67% (既存化学物質安全性点検データ, 2001))

生体蓄積性

[成分データ]

(メタクリル酸メチル)

log Pow=1.38 (PHYSPROP DB, 2005); Log Kow=1.38 (20°C) (環境省環境リスク評価 第11巻, 2013)

(アクリル酸2-エチルヘキシル)

log Kow=4.6 (EURAR, 2005)

(フタル酸ジ-n-オクチル)

log Pow=8.1 (PHYSPROP DB, 2005)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

T ボンド M 主剤

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1139

正式輸送名 :

コーティング液、車体の下塗り、ドラム等容器のライニング等の表面処理用のもの

分類または区分 : 3

容器等級 : II

指針番号: 127

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)

アクリル酸2-エチルヘキシル; フタル酸ジ-n-オクチル; メタクリル酸メチル

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

メタクリル酸メチル

名称通知危険/有害物

メタクリル酸メチル

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)

皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)

メタクリル酸メチル; アクリル酸2-エチルヘキシル

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

メタクリル酸メチル(37%);

アクリル酸2-エチルヘキシル(20%);

フタル酸ジオクチル(5.0%)

消防法

危険物

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

大気汚染防止法

揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項

メタクリル酸メチル

T ボンド M 主剤

有害大気汚染物質

メタクリル酸メチル

海洋汚染防止法

施行規則 第12条の3の2の10

特定標的臓器毒性、反復ばく露: 区分1 該当物質

メタクリル酸メチル

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

アクリル酸2-エチルヘキシル

REACH規則 SVHC候補リスト掲載物質

生殖毒性物質 (第57条c)

フタル酸ジ-n-オクチル

16. その他の情報

GHS分類区分

引火性液体 区分 2:H225 引火性の高い液体及び蒸気

皮膚腐食性/刺激性 区分 2:H315 皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2:H319 強い眼刺激

呼吸器感作性 区分 1:H334 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ

皮膚感作性 区分 1:H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がん性 区分 2:H351 発がんのおそれの疑い

生殖毒性 区分 2:H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 1:H370 臓器の障害

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3:H336 (麻酔作用)眠気又はめまいのおそれ

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1:H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2:H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害の

おそれ

水生環境有害性 短期(急性) 区分 3:H402 水生生物に有害

水生環境有害性 長期(慢性) 区分 3:H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

Hazard Communication Standard - 2012 (29 CFR 1910.1200)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の見扱いを対象としたものであって、特殊な見扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。